

平成22年度 第11回 役員会議事要旨

日 時 平成22年9月8日（水） 10時30分～12時10分

場 所 学長室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，米倉理事，宮崎理事，緒方理事

オブザーバー 川上監事，向井監事外

◎ 学長から前回役員会議事要旨確認の依頼があった。

審議事項

(1) 病児保育室の整備に係る経費について

米倉理事から，平成23年度末までの「三世代サポート型佐大女性研究者支援」事業として整備している病児保育室を今後も継続していくためには，新たに鍋島地区の保育所に隣接した施設を設置し，同保育所の拡充も含めた整備が望ましく，その整備経費のうち，附属病院負担分を除いた経費を平成22年度の間接経費等（オーバーヘッド）事業計画の予備費から充当したい旨の説明があり，審議の結果了承された。

(2) その他

特になし。

協議事項

(1) 佐賀大学学則の一部改正について

財務部長から，本学学則の授業料の徴収時期について，今後は，九州北部地区の金融機関から全国の金融機関を対象とした口座振替を予定していることから，前期分授業料の徴収時期を4月から5月までに，後期分授業料の徴収時期を10月から11月までに見直すことによる学則第49条等の改正内容についての説明があり，協議の結果了承され，直近の経営協議会で審議し，その後の教育研究評議会及び同評議会後の役員会で審議することとなった。

(2) 佐賀大学医学部附属病院規則の一部改正について

医学部事務部長から，医学部附属病院規則第3条の診療科のうち，日本血液学会認定施設等である本院の「血液内科」を実態に則した名称である「血液・腫瘍

内科」に変更すること、同規則第6条の診療科長及び副科長の任命を明確にするための規定を追加すること、同規則第7条の中央診療施設等のうち「リハビリテーション部」を認知症や高次機能障害等を含めた専門的なリハビリテーションである「先進総合機能回復センター」に改組することの説明があり、協議の結果了承され、直近の教育研究評議会及び同評議会後の役員会で審議することとなった。

(3) 佐賀大学研究センター及び研究プロジェクトの評価要領について

中島理事から、本件については、平成22年4月13日役員会で決定し、役員会指針4として策定された「研究センター及び研究プロジェクトの運営方針」に基づき、研究センター及び研究プロジェクトの具体的評価方法等を定める旨の説明があり、協議の結果了承され、直近の教育研究評議会及び同評議会後の役員会で審議することとなった。

(4) ラグビー部員飲酒死亡事故について

瀬口理事から、本件については、死亡事故直後にその原因究明及び再発防止のための事故調査委員会を設置し、8回に亘り同委員会で審議した。その結果を8月2日開催の学生委員会におい報告し、ラグビー部の処分についての審議が行われ、「行為の悪質性・計画性はなかったが、死亡事故という重大性及び再発防止の教育的観点から1年間の部活動休止（対外試合禁止）とする案、学長から主将への厳重な指導、今後の再建策報告を課する」こととした旨の説明があった。

また、学長から、教職員の処分については、厳重注意等を案としているが、最終的には学長一任を了解していただきたい旨の説明があり、協議の結果了承され、直近の教育研究評議会で審議することとなった。

(5) 「EA21ネット佐賀」の発足について（当日資料配布）

学長から、本件については、本学工学系研究科の宮島教授が代表となっており、発足に際し、本学に発起事業者となっただきたいとの依頼があった旨の説明があり、了承された。

(6) その他

学長から、各種会議等での発言が学長個人の方針なのか役員会の方針なのかとの意見を求められるため、学長自身が9月13日開催の全学教育機構設置準備室会議に出席するに当たり、これまで説明してきた全学教育機構の設置目的及び機能については、役員会の統一見解である旨を改めて確認したい旨の発言があり、了承された。

報告事項

(1) 平成22年度佐賀大学学位記授与式（9月期）及び平成22年度佐賀大学大学院入学式（10月期）の挙行について

総務部長から、今年度9月期の学位記授与式及び10月期の大学院入学式開催の案内があった。

- (2) 平成23年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金概算要求額（文部科学省案）の概要について
財務部長から、平成23年度の概算要求額について文部科学省から財務省に要求されている本学の対象事業等についての報告があった。
また、施設整備費事業については、環境施設部長から同様の報告があった。
- (3) 「平成22年度施設整備費（営繕事業）」実施事業の変更について
環境施設部長から、本件については、当初予定していた医学部のR I実験施設（Ⅱ期棟）改修工事が、内部の放射線汚染除去に数カ月を要し、年度内完成が無理となったため、緊急性を伴う事業に変更する旨の報告があった。
- (4) 佐賀大学オープンキャンパスの実施結果について
瀬口理事から、今年度のオープンキャンパスについて、昨年度と比較した場合、鍋島地区で243名の増加、本庄キャンパスで222名の減少があり、全体で21名の増加となった旨の報告があり、本庄キャンパスでの減少は台風による影響だとの説明があった。
また、アドミッションセンターの西郡教員から、オープンキャンパス参加者から集計した「参加者の感想」について報告があった。
- (5) ジャハンギールナガール大学（バングラデシュ）との大学間学術交流協定の締結について
学術研究協力部長から、バングラデシュのジャハンギールナガール大学と7月26日に学術交流協定を締結した旨の報告があった。
- (6) その他
特になし。